

講座前から配付資料をアップしますが、紙に印刷したものを講座時の会場内に持ち込まないで下さい。講座の演奏中に紙をめくると、鑑賞の妨げとなります。少人数のマイクを使用しない演奏ですので、騒音防止にご協力をお願いいたします。

生で聴くルネサンスの合唱曲② ～作曲家バードと禁じられたミサの秘密～

2023 年 11 月 9 日（木）

監修：西宮東高等学校教諭 中井 英文

指揮とリュート演奏：笠原 雅仁

ヴィオラ・ダ・ガンバ演奏：野田祐子

合唱：Chorus Jovis(「雷神ジュピターの合唱団」の意味のラテン語。木曜日は西洋諸語において「雷神の日」であることからそう名付けました。)

ソプラノ：泉由香 上木裕子 アルト：椿本実加 西野夏子

テノール：中井英文 中安公則 バス：清水英幸 野崎恭輔

- 1 ウィリアム・バードは、カトリックが迫害されていた時代において、ミサを3曲も書き、出版していたのです。一体、何のためでしょうか？
- 2 英国がカトリックから離脱したのは、ヘンリー8世の離婚問題が原因でした。
彼は、男子の継承者を産めなかったキャサリンと離縁するために、カトリックから離脱し、英国国教会を作ります。
- 3 しかし、ヘンリーが再婚したアン・ブーリンも男子を産めず、姦通罪の名目で彼はアンを処刑してしまいます。これにより、アンの娘のエリザベスは「庶子（私生児）」扱いになりますが、ヘンリーは生前、手を尽くしてエリザベスに王位継承権を残しておいたのです。
- 4 やがてエリザベスは女王となり（エリザベス1世）、カトリックに対して最初は寛容な政策を取っていました。しかし、ローマ教皇ピウス5世は新教に対抗する「反宗教改革」を強力

に推進しており、1570 年に勅書を発行してエリザベスは王位継承権がないのにイングランド女王を僭称しているとし、また彼女を破門したのでした。

5 英国国民は、女王の破門に憤慨しました。制度上、エリザベスには王位継承権があるのに、ローマ教皇はそれを否定したからです。皮肉なことに、女王が破門されたことで、逆に英国国民の女王に対する忠誠心は高まり、国民のカトリックに対する意識は厳しいものになっていきます。

6 英国の状況に危機感を抱いたイエズス会（カトリックの一派）は、カトリック復活の運動を指導するために、ローマからイエズス会士を英国に入国させます。この国内の不穏な動きを懸念したエリザベスは、しだいにカトリックを迫害していくようになり、ついに 1593 年、「国教忌避者取締法」を發布します。ミサを行った司祭は死刑と定められたのでした。

7 この法律ができた 1593 年に、バードはロンドン東北のエセックスに引っ越しています。バードの庇護者でもあるカトリックの貴族・ピーター卿が近くに邸宅を構えていたから、と言われています。ピーター卿の邸宅でバードは何をしていたのでしょうか？

8 研究により、バードが作曲した 3 つのミサ曲は、すべてこの時代に書かれたものであることが分っています。

これらのミサには、いくつかの「謎」があります。

○何の機会に歌うために作曲されたのか？

（コンサートがなかった時代なので、ミサ曲は礼拝としてのミサで歌うものでした。

しかし前述のように、ミサを行うのは、この時代の英国では禁じられていたのです。）

○三曲のどの楽譜にも「タイトル・ページ（表紙）」がないのは、なぜ？

○英国のミサ曲は伝統的に「キリエ」を歌わないのに、なぜバードは三曲ともキリエを作曲したのか？

答え合わせは、講座にて・・・

※歌う曲の歌詞と日本語訳です。翻訳は全て中井が行いました。

※本日のラテン語の曲は、「英国式ラテン語発音」で歌います。

例) excelsis は「エクシエルシス」ではなく「エクセルシス」

gratias は「グラツィアス」ではなく「グラシアス」などなど。

トーマス・タリス「If ye love me」(英語)

If ye love me, keep my もしあなた方が私を愛し、戒律を守るならば、
commandments.

And I will pray the Father, 私は父なる神に祈ろう。
and he shall give you another そして神は、あなた方と永遠にいられますように、
comforter, あなた方にもう一人のあなた方を慰める者をきつ
that he ①may ②'bide with you と遣わすだろう。
forever;

③E'en the ④sp'rit of truth その者とは、まさしく真実の聖霊である。

①「祈願の仮定法(どうか～でありますように)」の may が用いられている。ラテン語の maneat の英訳。②abide「とどまる」の短縮形。③even の短縮形。「まさしく」はこの単語の古風な意味。④spirit の短縮形。

バードの同僚でもあり指導者でもあったタリスの最も有名な作品で、英国国民には特別な曲。法王の訪問や王族の結婚式などの特別な機会によく歌われる。(2018年のヘンリー王子とメーガン妃の結婚式でも演奏された。)

ヘンリー8世「Pastime with good company」(英語)

1.Pastime with good company I love and shall until I die; grudge who lust but none deny, so God be pleased thus live will I. for my pastance hunt, sing and dance. my heart is set: all goodly sports for my comfort, who shall me let?	1.いい仲間と楽しむこと、 私はそれが大好きだし、死ぬまで楽しんでやろうじゃないか。人のことを嫉妬したって始まらない、けれど人の生き様を否定することも良くない。だから、神さまどうかお喜びくだされ、このように私は生きてまいります。私の気晴らしといえば、狩りに歌に踊り。私の心は揺るがない。 すべての娯楽、それはみんな私のこころのなぐさめ、そんな私を誰も邪魔立てできない。
--	--

2.Youth must have some dalliance,of good or ill some pastance; company me thinks then best all thoughts and fancies to digest.	2.青春にはいくらかの浪費はつきものである、 良きにつけ悪しきにつけ娯楽のために。 また仲間は、私には最高のものだ。 思想やら空想やらにふけていてはだめだ。
---	---

For idleness is chief mistress of vices all.

なぜなら、「何もしないで過ごす怠惰」こそがあらゆる悪徳の女王だからだ。

Then who can say but mirth and play is best of all?

それならば、笑い合ったり遊んだりする以外のことが最善のことだ、なんてどうして言えるんだ？

3. Company with honesty is virtue vices to flee:

3. 誠実な仲間というものは、美德であり、悪徳は寄せ付けない。

company is good and ill but every man has his free will.

仲間は良い面も悪い面もあるが、ひとには自由な意志というものがあるのだから、

the best ensue, the worst eschew,

良い仲間にはついていき、悪い仲間は避けることだ。

my mind shall be: virtue to use,
vice to refuse, thus shall I use me.

私の心は以下の言葉に要約される。「良いものは使い、悪いものは相手にしない、かくして私はこれからも自分らしく生きてゆく。」

ウィリアム・バード「Miserere mei」(ラテン語)

Miserere mei, Deus,
secundum magnam misericordiam tuam;
et secundum multitudinem miserationum
tuarum, dele iniquitatem meam.

私のことを憐れんで下さい、神よ、
あなたの崇高なる憐れみのみこころによって。
そして、あなたの溢れんばかりの慈悲の豊かさ
によって、
私の罪を破壊して下さい。

旧約聖書の「詩篇第51篇」からの歌詞である。ダビデは、家臣ウリヤの妻のバテシバを自分のものにするため、ウリヤを戦争の最前線にわざと行かせて死なせる事で奪って妻とした。預言者ナタンにそのことを叱責された際に、ダビデが歌った痛悔の詩篇と伝えられている。

大阪音楽大学の能登原由美の『ウィリアム・バード中期の楽譜出版活動における二面性』(2002)によれば、イングランドのカトリック教徒は1580年代以降、宗教弾圧で処刑される際に処刑人の負う罪の赦しを神に請うため、この詩篇を絞首台上で唱えるようになっていたそうである。隠れ信者としてカトリックの秘密のミサを支援者の貴族の邸宅で行っていたバードがこの歌詞にこめた意味は、おそらく「私の罪を許して下さい」ではなく、「カトリックを弾圧する者の罪を許して下さい」であったことだろう。

ウィリアム・バード「Have mercy upon me」(英語)

Have mercy upon me O God,
after thy great goodness.

And according to the multitude of thy
mercies

wipe away mine offences.

Wash me clean from my wickedness,
and purge me from my sin. Amen.

おお神よ、私を憐れんで下さい、
あなたのいと高き徳によって。

そしてあなたの深い許しのみこころによ
り、

私の罪をぬぐいにとって下さい。

私から背徳を洗い流して下さい、

そして罪から私を清めて下さい。アーメン。

前の曲の「Miserere mei」と同じく、旧約聖書の「詩篇第51篇」からの歌詞だが、英訳するに
当って多少言葉の違いがある。

ウィリアム・バード「Though Amaryllis dance in green」(英語)

1.Though Amaryllis dance in green like
Fairy Queen, And sing full clear;
Corinna can, with smiling, cheer:
Yet since their eyes make heart so sore,
Heigh ho! I'll love no more.

1.妖精の女王のようにアマリリスが緑の野原に咲き乱
れ、透き通った声で風にそよいでいても、
コリナときたら微笑むだけで僕の心を奪うことができ
るんだ。でもコリナの目を見ると僕の心臓はつぶされ
そうになるので、やれやれ、もう恋はしないでおくよ。

2.My sheep are lost for want of food, and I
so would:
That all the day I sit and watch a herd-maid
gay:
Who laughs to see me sigh so sore;
Heigh ho! I'll love no more.

2.食べる物が無いので僕の羊たちはいなくなってしまう
った。そう僕は望んだに等しいのだ。
日がな一日まき場に座って、陽気な羊飼いの少女を眺
めているのだから。
彼女は恋のため息をついてばかりの僕を笑うのだ。
やれやれ、もう恋はしないでおくよ。

4.Ah, wanton eyes! my friendly foes and
causes of woes:
Your sweet desire breeds flames of ice, and
freeze in fire:
Ye scorn to see me weep so sore:
Heigh ho! I'll love no more.

4.ああ、ふしだらな瞳よ。私の友好的な敵にして災いの
源よ。
あなたの甘美な欲望は氷の炎を産みだし、火の中に寒
さを作り出す。
君たちは僕がひどく泣くのを見てあざ笑う。
やれやれ、もう恋はしないでおくよ。

5.Love ye who list, I force him not:
Sith God it wot,
The more I wail, the less my sighs and tears
prevail:
What shall I do, but say therefore,
Heigh ho! I'll love no more.

5.君たちが頼みにしているキューピッド、僕はあいつに
頼んだりしない。恋は神の思し召しさ。
僕が泣けば泣くほど、ため息と涙は枯渇してゆく。
僕がなすべきことはといえば、従ってただこう言うの
み。やれやれ、もう恋はしないでおくよ。

1. キリエ (Kyrie)

Kyrie eleison.

主よ、憐れんでください。

Christe eleison.

キリストよ、憐れんでください。

Kyrie eleison.

主よ、憐れんでください。

2. グローリア (Gloria)

Gloria in excelsis Deo.

天のいと高きところでは神に栄光があります

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

ように、そして地上では、平和が善意の人々に

Laudamus te.

ありますように。私たちはあなたを賞賛しま

Benedicimus te.

す、あなたを言祝ぎます、

Adoramus te.

あなたを拝みます、

Glorificamus te.

あなたの栄光を讃えます。

Gratias agimus tibi propter

私たちはあなたに感謝をささげます、

magnam gloriam tuam.

あなたの大いなる栄光のゆえに。

Domine deus, rex caelestis, deus pater
omnipotens.

神なる主よ、天の王よ、全能の父である神よ、
独り子である主・イエス・キリストよ、

Domine fili unigenite, Jesu Christe.

神なる主よ、神の小羊よ、父の御子よ。

Domine deus, agnus dei, filius patris.

世の罪を取り除かれるお方よ、私たちを憐れん
でください。

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

世の罪を取り除かれるお方よ、

Qui tollis peccata mundi,

suscipe deprecationem nostram.

私たちの願いを聞き入れてください。

Qui sedes ad dexteram patris,

父の右に座すお方よ、

miserere nobis.

私たちを憐れんでください。

Quoniam tu solus sanctus, Tu solus
dominus.

なぜならば、あなたのみが聖、あなたのみが主、
あなたのみがいと高き方であるからです、イエ
ス・キリストよ。

Tu solus altissimus, Jesu Christe.

あなたは聖霊とともに、父なる神の栄光のうち
にあられます。アーメン。

Cum Sancto spiritu, in gloria dei patris,
Amen.

3. クレド (Credo)

Credo in unum deum, patrem omnipotentem.	私は信じます、唯一である神を、全能の父を、
Factorem caeli et terrae, visibilium omnium et invisibilium, Et in unum dominum. Jesum Christum filium dei unigenitum.	天と地、全ての目に見えるものと見えぬものの創り主を。そして (信じます)、唯一である主を、イエス・キリストを、神の独り子を、
Et ex patre natum ante omnia saecula.	全ての世に先立って父からお生まれになった方を。神から生まれた神、光から生まれた光、
Deum de deo, lumen de lumine, deum verum de deo vero.	まことの神から生まれた真正の神を。
Genitum, non factum, consubstantialem patri: per quem omnia facta sunt.	生まれたが創られたのではなく、父と本質を共有し、万物がそれによって創られた方を。
Qui propter nos homines, et propter nostram salutem descendit de caelis.	この方は、我ら人間のために、また我々の救いのために、天から下られました。
Et incarnatus est de spiritu sancto ex Maria virgine: et homo factus est.	そして聖霊によって処女マリアから肉体を受け、人と成られました。
Crucifixus etiam pro nobis sub Pontio Pilato: passus, et sepultus est.	さらに我らのためにポンテオ・ピラトのもとで十字架につけられ、苦しみを受け、埋葬されました。
Et resurrexit tertia die, secundum scripturas.	そして聖書にある通りに三日目に復活なさいました。
Et ascendit in caelum: sedet ad dexteram patris.	そして天に上り、父の右に座されました。
Et iterum venturus est cum gloria judicare vivos et mortuos:	そして栄光に満ちてふたたび到来し、生者と死者を裁かれるでしょう。
cujus regni non erit finis.	その統治には終わりがありません。
Et in spiritum sanctum dominum, et vivificantem: qui ex patre, filioque procedit.	そして (信じます)、聖霊を、主にして生命を与える者を。それは父と子から発し、
Qui cum patre, et filio simul adoratur, et conglorificatur: qui locutus est per prophetas.	父と子と変わりなく崇拝せられ、讃えられます。それは預言者達によって語られたものです。
Et unam, sanctam, catholicam et apostolicam ecclesiam.	そして (信じます)、ひとつの聖なる普遍的な、使徒伝来の教会を。
Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum. Et exspecto resurrectionem mortuorum. Et vitam venturi saeculi. Amen.	私は承認します、罪の許しのための唯一の洗礼への信仰を。私は待ち望みます、死者の復活を、来るべき世の命を。アーメン。

4. サンクトゥス (Sanctus)

Sanctus, sanctus, sanctus,
dominus deus sabaoth. Pleni sunt caeli et
terra gloria tua.

Hosanna in excelsis.

Benedictus qui venit in nomine domini.

Hosanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
万軍の神なる主は。天と地はその栄光に満
ちています。

いと高きところにホサナ。

言祝がれますように、主の名においていら
っしゃる方が。

いと高きところにホサナ。

5. アグヌス・デイ (Agnus Dei)

Agnus dei, qui tollis peccata mundi
miserere nobis.

Agnus dei, qui tollis peccata mundi
dona nobis pacem.

神の小羊よ、世の罪を取り除いてくださる
お方よ、私たちに憐れんでください。

神の小羊よ、世の罪を取り除いてくださる
お方よ、私たちに平和を与えてください。